

令和3年度第4回全校集会（1月） 校長講話

こんにちは。3学期が始まって二週間が経ちました。皆さん、元気にスタートできましたか。今日は最初に、11月の全校集会で紹介した肢体高等部1年生の川内翔（かわち しょう）さんの表彰から始まりました。本当におめでとうございます。その作品がこちらです。よく撮れていて、見ているとほっこりした気持ちになりますね。それから、賞状がまだ届いていないので、今日はみんなの前で表彰できませんでしたが、同じく肢体高等部1年生の竹内みのり（たけうち むのり）さんが、第1回あ〜と展覧会において銀賞を受賞しました。作品のテーマは、「私の心〜楽しい！うれしい！発見！〜」です。受賞作品はこちらです。「楽しい！うれしい！発見！」という竹内さん自身の思いを、線の太い個所やかすれた箇所で表現しているということです。この展覧会には肢体高等部から6名、肢体中学部から1名が出品し、どれも素晴らしい作品だったと聞いています。今年もたくさんの賞状を一人でも多くの人に手渡したいと思いますので、いろいろなコンクールに応募してください。

さて、今日はこの後、新旧児童生徒会役員の挨拶と給食委員会の発表があります。今日1月24日から30日までの一週間は、「全国学校給食週間」です。本校では、先週が給食週間でした。お米や豆腐、みかんやキウイフルーツや鶏肉など、福岡県の新鮮な食材が給食に使われ、私たちはおいしくいただいています。給食委員会の発表を見て、学校給食について学び、感謝する良い機会にしてほしいと思います。

ところで、日本の給食はいつから始まったと思いますか。明治22年（1889年）、今から133年前に山形県鶴岡町の仲愛（ちゅうあい）小学校で、家が貧しくて困っている子どもたちのために、無料で学校給食を実施したのが、我が国の学校給食の始まりとされています。そのころの献立は、「おにぎり、焼き魚、つけもの」でした。これにみそ汁があれば、校長先生が大好きな和食メニューになりますね。

その後、学校給食は戦争のために中断されましたが、戦後の食糧不足で子どもたちの栄養状態が悪くなったことから、学校給食の必要性が叫ばれるようになりました。そして、昭和21年（1946年）12月24日に東京、神奈川、千葉で学校給食が始まりました。12月24日は冬休みになることがあるため、一か月後の今日1月24日を「学校給食記念日」としました。

食いしん坊の校長先生は、栄養バランスが良くて、とてもおいしい築城特別支援学校の給食をいただくのを毎日楽しみにしています。

今、全国的にオミクロン株という新型コロナウイルス感染症が流行して、体調を崩す人が多くなっていますが、あと少し予防すれば暖かくなってきて、人間の免疫力（病気を防ぐ力）が強くなります。免疫力を高めるためにも、おいしく楽しくごはんを食べて、しっかり睡眠をとって、適度な運動を心がけて、元気に春を迎えましょう。

これで校長先生の話が終わります。